

第1回 学校運営協議会議事録

日時：令和4年7月21日（木）13時30分～15時00分

場所：本校会議室

議事

1 校長挨拶

2 出席者紹介

3 会長選出

4 事務局より

(1) 令和4年度学校経営計画について（校長）

大阪府の支援事業（学校経営推進費）に選ばれたこともあり、中期目標の内容に修正を加えた。視聴覚教室をグローバルラーニングホールに改修し、国際活動の活発化をめざす。

(2) 令和3年度進路実績について（進路指導主事）

57期生（令和4年3月卒業）の進路状況を説明。4年制大学の合格者数を大きく伸ばした。

(3) 令和5年度使用教科用図書を選定について（教頭）

本校での選定手順について説明。高校では各学校で選定し、教育委員会会議で採択する流れになっている。また、令和4年度の1年生より新カリキュラムがスタートした。

(4) スクール・ミッション策定について（首席）

本校でのスクール・ミッション策定スケジュールについて説明。今後ご意見をいただきたい。

(5) 創立60周年記念事業について（教頭）

創立60周年記念事業として、記念式典（10月13日）の実施、記念誌の発行、国際交流スペースのリニューアルを予定している。

5 協議、意見交換

Q.学校教育自己診断の内容については、大阪府からの指示があるものなのか？

A.府の示すひな形を参考に学校で作成し、経年変化を見るために基本的には例年同じ内容で実施している。

Q.小学校では、学校図書館を充実させたいと考え、タブレットの普及により不要になった PC ルームを第 2 図書館にする計画をしている。地域からの蔵書などこれから活用予定である。これと同じように、環境を変えるという意味で、グローバルラーニングホールへの改修はわくわくするような取り組みだと思う。具体的にどんな構想があるのか？

A.現状では机と椅子が固定されているため、収容人数の上限が 120 名。フレキシブルに移動したり、大人数で同時に活動したり、大人数に向けてのプレゼンテーションまた、ポスターセッションの会場としたいと考えている。

Q.学校の特色として、国際文化科をクローズアップしているのか？

A.特色をつくるというより、今ある取り組みを紹介し、わかりやすいメッセージで発信したいと考えている。

Q. グローバルラーニングホールへの改修について、ソフト関係の充実は怎么样了のか？

A.現在、Wi-Fi が完備されており、既にタブレットを用いた授業をしている。昨年は、海外 4 校とのオンライン交流があり、大スクリーンに先方の学校の生徒をうつして交流した。このような取り組みをさらに充実させていきたいと考えている。

・生徒たちが自主的に活用できるとよいかもしれない。語学の壁はテクノロジーの進化でどうかなる。それより課題をどう解決するかが大事になるのではないか。

→最終的には海外の生徒と共同で課題研究や討論などできるようになればと考えている。

・子どもから枚方未来学という授業があると聞いていて、よい取り組みだと思っている。発

表の場があることはとてもよいと思う。グローバルラーニングホールによって世界の人とつながれる、違う文化の人とコミュニケーションできるのは、いい経験になると思う。

・国際文化科の英検取得への支援は、よい取り組みだと思う。普通科と国際文化科の違い、国際文化科に行ったからこそできると思えるものなど、海外語学研修に行けない分、普通科との差別化も大事かと思う。

→国際文化科のカリキュラムで3年間学んだ生徒たちは、とくにリスニング力で大きな差をつける。英検で成果が挙げられているのは、リスニングの力によるところが大きい。イングリッシュシャワーを3年間浴びられるというのは、国際文化科でしかできない特色だと考える。

→生徒自身は、国際文化科にはいわゆる「お得感」があると感じている。ネイティブと接する時間が豊富にあり、第二外国語が学習できる。異文化交流の機会も多い。

Q.リスニングの学習はいつでもできるようになっているのか？

A.主にCALL教室でリスニングの学習を行っている。国際文化科の生徒は専用のヘッドセットを購入しており、2学期から新たな学習システムを導入してさらに学習しやすくなる。

【意見】スクールミッションについて、枚方の地域性の特徴について盛り込んでみてもよいのではないか。

6 その他

・昨年度よりPTAから図書を寄付していただいている。ありがとうございます。

7 閉会のあいさつ